

平成21年度 事業報告

目 次

1、はじめに	3
2、概 況	4
3、理事会・評議員会	5
4、事業別報告	7

【1】 軽井沢友愛山荘／研修施設運営事業（寄付行為第4条6項）

- （1）利用状況
- （2）収益状況
- （3）その他

【2】 国際交流事業／受入事業（寄付行為第4条5項）

- （1）オーストリア勤労青年連盟 代表青年の受入れ
寄付行為第4条2項、3項および5項に基づく事業

【3】 国際交流事業／派遣事業（寄付行為第4条2項および5項）

- （1）オーストリア勤労青年連盟 推薦青年の派遣
寄付行為第4条2項および5項に基づく事業
- （2）日中緑化交流基金による植林
寄付行為第4条1項、4項および5項に基づく事業
- （3）日中友愛交流会
寄付行為第4条2項および5項に基づく事業

【4】 文化振興、研修事業（寄付行為第4条8項）

- （1）友愛ドイツ歌曲（リート）コンクール開催

【5】 刊行物事業（寄付行為第4条7項）

- (1) 機関紙『友愛』の発行
- (2) ホームページの更新

【6】 講演会、研修会の開催（寄付行為第4条3項）

- (1) 「鳩山友愛塾」の後援

【7】 その他事業（寄付行為第4条2項）

- (1) (社)中央青少年団体連絡協議会への参加協力
- (2) 核禁会議への参加協力
- (3) NPO 法人日本けん玉協会への参加協力
- (4) NPO 法人日本補助犬協会への協力

5、庶務関連報告 2 2

6、平成21年度 決算報告（別 紙）

7、平成21年度 監査報告（別 紙）

1、はじめに

財団法人日本友愛青年協会は、昭和 28 年（1953 年）に結成された「友愛青年同志会」を母体とし、昭和 34 年（1960 年）に設立された。

「友愛精神」とは、「相互尊重・相互理解・相互扶助」を旨とし、その実践に務めることに他ならない。すなわち、お互いを尊重し、理解し、助け合う社会的基盤を作り上げることである。

本協会は「友愛」の理念のもと、(1)友愛活動の原点である「軽井沢友愛山荘」の運営。(2)国際交流活動を主軸とした社会教育、文化振興、(3)機関紙『友愛』の発行と-「寄付行為」第 3 条に定める『目的』「この法人は、友愛精神を基調とする青年の団結を図り、その教養及び識見を高めるとともに、その社会的活動を援助し、もって健全明朗な民主社会の実現と自主独立の文化国家の建設に寄与することを目的とする」及び第 4 条に定める『事業』に従い、活動を行っている。

これらの活動を介して培われた東南アジア諸国の青年団体との友好関係、オーストリア勤労青年連盟との姉妹団体関係は現在に至るまで、その絆を深めている。また、中国各地において行った「日中植林活動」は 9 年を越え、日中友好関係を築くのみならず、環境保全、温暖化防止にも寄与している。

その他、(社)中央青少年団体連絡協議会、核禁会議、尾崎行雄記念財団をはじめとする他団体との協力、連携など、多岐にわたる活動を行うとともに、20 年 4 月に開塾した「鳩山友愛塾」を支援し、今後も広く活動を継続して行くものである。

2、概 況

平成 21 年度は、平成 20 年度から引き続き公益法人制度改革にともなう、一般財団法人移行に向けて定款の変更案の作成、最初の評議員選考委員、および最初の評議員の選任等様々な準備を続けている。特筆すべき事項は、当財団会計基準を平成 21 年度より平成 20 年度公益法人会計基準に変更したことである。

1) 「軽井沢友愛山荘」運営事業については、平成 21 年度中において円滑に運営・活動が行われ無事故であった。山荘入り口看板については、従来のものが老朽化していたことから鳩山一郎先生直筆の『友愛山荘』という文字を転写した看板に交換した。

2) 姉妹団体 OJAB との間で、招聘事業においては広島・京都での研修旅行が行われその意義の拡充が実現した。国際交流事業において特筆すべき事項は、当財団初めての試みとして中国大使館青年職員との交流事業『日中友愛交流会』が開催され、盛況を博した。

3) 併せて、国内における(社)中央青年団対連絡協議会での理事就任など、他団体との交流、協力も着実な活動状況を呈している。

4) 友愛ドイツ歌曲(リート)コンクールは、本年度第 20 回を迎え、ドイツ歌曲のみを審査対象とするコンクールとしては国内随一の地位を確立している。平成 22 年度からは文部科学大臣奨励賞から文部科学大臣賞と賞名を変えさらなる飛躍が期待できる現状である。

5) 植林事業においては、平成 21 年度第 3 期アモイ生態緑化プロジェクトをもってその全てを終了し十分な効果を発揮し役割を終えた。

6) 友愛普及事業の一貫として、リーフレット『友愛』を作成し鳩山会館等広く一般に配布した。

総括すれば、財団の新たな役割の発見、達成に向けて新陳代謝が進んだ一年であった。

3、理事会・評議員会・最初の評議員選考委員会

(1) 理事会

第 78 回定例理事会

開催日：平成 21 年 5 月 29 日（金）

場 所：鳩山ビル 6 階 会議室（東京都文京区本郷）

議 題：平成 20 年度事業報告及び平成 20 年度決算報告

内 容：提出議案が審議され、全議案原案通りに可決（詳細は議事録）

第 79 回臨時理事会

開催日：平成 21 年 10 月 16 日（金）

場 所：友愛サロン（東京都文京区小石川）

議 題：理事長代行者選任の件

公益法人制度改革移行認可申請に当たっての最初の評議員選任方法の件

内 容：提出議案が審議され、全議案原案通りに可決（詳細は議事録）

第 80 回定例理事会

開催日：平成 22 年 3 月 29 日（月）

場 所：友愛サロン（東京都文京区小石川）

議 題：平成 22 年度事業計画

公益法人制度改革移行認可申請に当たっての最初の評議員選任方法の件

内 容：提出議案が審議され、全議案原案通りに可決（詳細は議事録）

(2) 評議員会

第 69 回定例評議員会

開催日：平成 20 年 5 月 28 日（水）

場 所：鳩山ビル 6 階 会議室（東京都文京区本郷）

議 題：平成 19 年度事業報告ならびに平成 19 年度決算報告

内 容：提出議案が審議され、全議案原案通りに可決（詳細は議事録）

第 70 回定例評議員会

開催日：平成 21 年 3 月 27 日（金）

場 所：友愛サロン（東京都文京区小石川）

議 題：平成 22 年度事業計画及び平成 22 年度予算の件
役員選任の件

内 容：提出議案が審議され、全議案原案通りに可決（詳細は議事録）

(3) 最初の評議員選考委員会

第 1 回最初の評議員選考委員会

開催日：平成 22 年 1 月 19 日 (火)

場 所：友愛サロン (東京都文京区小石川)

議 題：最初の評議員選考の件

内 容：提出議案が審議され、全議案原案通りに可決 (詳細は議事録)

4、事業別報告

【1】軽井沢友愛山荘 運営事業／寄付行為第4条6項に基づく事業

(1) 利用状況

	<u>用延べ人数</u>	<u>売上金額</u>
平成21年度	1,316 人	10,087,175 円
前年比	増	6.7% 増
《参 考》		
平成20年度	1,224 人	9,446,185 円
平成19年度	1,016 人	6,559,020 円

＊ 利用客数前年比 7.5%の増加

＊ 売上金額前年比 7%増加

(2) 収支状況

＊ 山荘収入：山荘経費＝10,087,175 円：14,624,324 円

(3) 設備改修等

＊ 友愛山荘正面入口看板の新設（図1）

＊ 友愛山荘パンフレットの刷新（図2）





本財団は、創立者 鳩山一郎の友愛からスタート
いたしました。

友愛とは、相互尊重・相互理解・相互扶助の友愛
三原則を基本とした考え方であり、人間と人間、
人間と自然の共存共生の活動を展開しています。
当山荘には、友愛についての資料が揃っております。

軽井沢友愛山荘へのご案内

- 東京・上野より新幹線で約1時間
軽井沢駅より徒歩約7分。
- 上信越高速「碓氷軽井沢」出口より約10km (20分)
オンシーズンのお車での移動は余裕をもって
- チェックイン/15:00 チェックアウト/10:00
※ 上記以外の時間については、事前にご相談ください。



〒389-0104
長野県北佐久郡軽井沢町軽井沢東1608
TEL 0267-42-2477

賛助会員募集のお願い

「友愛」の活動・事業を支えてくださる賛助会員を募集しております。
一ロ一万円以上です。よろしくお申し込み申し上げます。
「郵便為替口座」：(財)日本友愛青年協会 00130-2-23095

お問い合わせ・お申込み先

財団法人 日本友愛青年協会
〒112-0002 東京都文京区小石川 1-10-13
TEL 03-5684-3188 FAX 03-5684-3186
HP : <http://www.yuayouth.or.jp>

軽井沢 友愛山荘



財団法人 日本友愛青年協会

【2】国際交流事業 受入事業／寄付行為第4条5項に基づく事業

(1) オーストリア勤労青年連盟 代表青年の受入れ

寄付行為第4条2項、3項および5項に基づく事業

- ＊ オーストリア勤労青年連盟 (ÖJAB) より、推薦を受けた青年2名を招聘
- ＊ 7日間の日本滞在を提供 (平成21年11月21日～11月27日)
- ＊ 鳩山友愛塾修了生との意見交換会 (友愛サロン)
- ＊ 滞在中のアテンドは、島崎照代評議員、井之輪豪事務局次長、森本真治広島市議 (友愛塾修了生)。

来日青年プロフィール

Miss. Bettina Poltl (ベティーナ・ペルティル)

OJAB本部 経理部勤務 数々の青少年育成プログラムに参画
Mrs. Gertrude Honeder (ゲルティー・ホネダー)

OJAB25年以上勤務 現在 Lower Austria 地区 Krems の学
生ホステルのマネジャー

滞在中の記録

11月 21 日 来日 成田着（出迎え 鶴巻克雄常務理事） 六義園 見学
11月 22 日 広島宮島世界遺産 見学
11月 23 日 広島平和記念公園 見学 裏千家茶道体験
11月 24 日 京都観光（清水寺・嵐山・金閣寺・平安神宮）
11月 25 日 鳩山会館訪問
歓迎食事会（ホスト：鶴巻克雄常務理事） 於：東京ドームホテル
11月 26 日 池袋・浅草 自由見学
11月 27 日 帰国 成田発



平和記念公園にて（写真上）
厳島神社にて（写真右上）
茶道体験（写真右下）

【3】国際交流事業 派遣事業／寄付行為第4条2項および5項に基づく事業

(1) オーストリア勤労青年連盟 推薦青年の派遣

寄付行為第4条2項および5項に基づく事業

＊派遣対象者：平成 21 年度友愛ドイツ歌曲コンクール第一位入賞者

＊平成 21 年度：村元彩夏さん（東京芸術大学大学院在学中）

＊滞在期間：3 月 10 日～3 月 17 日

＊姉妹団体オーストリア勤労青年連盟（ÖJAB）の協力を得て実施

＊ウィーンバーゼンドルファーホールにてオーストリア勤労青年連盟主催の音楽会に出演（平成 21 年 3 月 16 日）

＊オーストリア勤労青年連盟（ÖJAB）が 8 日間の滞在を提供



＊バーゼンドルファーホールにて熱演する村元彩夏さん



ÖJABシュスラー会長(写真右端)と

写真左より

モール事務局員(昨年度来日)

島崎評議員

ウィリアム副会長

村元彩夏さん

ヴァンマー事務局長

ケルスティン事務局員(昨年度来日)

(2) 日中緑化交流基金による中国植林活動、訪中団派遣

(次頁地図・写真参照)

寄付行為第 4 条 1 項、4 項および 5 項に基づく事業

概 要

日中緑化交流基金からの助成金を得て、中国側の要請に応じた地域に植林を実施する。中国側植林該当地における環境保全、地球温暖化防止、及び地域の経済振興に役立つ事業である。同時に、訪中団を派遣することから、相互理解を深める機会となる。

日中双方の青少年にとって、交流の機会をもつことができる。植林対象地も、中国各地におよび、地域の特徴的な文化に触れる貴重な機会であり、派遣の日本青年にとっては、中国の様々な面を知ることができる。

昨年に引き続き、本年度も「鳩山友愛塾」に対し参加の案内を行い、延べ 8 名の参加を得た。

また、本年度の訪中団（第 16 次）は、植林活動の他、昨年（第 14 次）の既植林地を視察、苗の極めて高い活着率を確認し、環境保全、経済効果ともにあがっている事が確認できた。

《その 1》日中青年湖北省シキ県生態緑化プロジェクト

派遣先：湖北省宣昌市シキ県 中国側窓口：中華全国青年連合会

事業概要：シキ県は長江三峡ダムを有する県で、三峡ダム上流 15km に位置する。

治水の不備等が原因で、毎年約数万トンの泥沙が流れ込み、長江の水質や三峡ダムに影響を及ぼしている。このため保水、治水を目的に生態環境の改善を図る。

また、現地の特産品である柑橘類の植樹は、土砂流出を防ぐのみならず、果実の収穫による経済効果も見込まれ、現地では大いに喜ばれている。

樹 種：柏樹、柑桔、刺槐

派遣期間：平成 21 年 12 月 23 日～26 日

植林地：湖北省宣昌市シキ県

植林参加人数：9 名

《その 2》日中青年アモイ生態緑化林プロジェクト

派遣先：福建省アモイ市 中国側窓口：中華全国青年連合会

事業概要：福建省は、中国政府が環境モデル地域に指定。発展した都

市部郊外における緑化事業であり、同時に地域の農耕面積を確保するための護岸事業でもある。

前回（第 12 次・13 次）の植林地は、公園として整備され、あずま屋なども設置され市民の憩いの場となっている。植林した木々も見事な成長を見せていた。また、丘陵の下を流れる川には、小さいながらダムも建設され、植林事業は、上流の畑の耕作地を保護するのに役立っているとの報告があった。今回はアモイ海洋大学の学生が参加、訪中の学生等の交流の場となった。

樹 種 : タイザンボク系植物 ブーゲンビリアの種類など

派遣期間 : 平成 22 年 3 月 3 日～5 日

植林地 : 福建省 アモイ市郊外

植林参加人数 : 7 名

第 15 次・第 16 次 植林実施地域地図



第十五次訪中湖北省シキ県

第 16 次訪中 福建省アモイ市

ま と め

日中緑化基金シキ県プロジェクトのねらいは植林による緑化効果だけではなく、地域経済への寄与、さらに植林による揚子江沿岸の護岸効果までもをその視野に入れている。同プロジェクトは、今回第 5 期を終えたがそのそれぞれの効果が目に見えて表れ当財団がシキ県プロジェクトに尽力を注いできたことの意義の大きさが感じられるようになった。

三年間をかけ第 3 期に渡って実施された日中緑化アモイ生態緑化林プロジェクトは、今年度で終了した。第 1 期（2007 年）から、計 180.6 ヘクタールの造成地に 17 万 6 千 6 百株の植樹をしたことになる。その効果は、実施結果報告が出ている直近の第 2 期においては平均活着率が 91.3% と極めて優秀な結果である。

《第 15 次訪中 湖北省シキ県》



急斜面にミカン（現地の特産農業製品：経済の基盤にもなっている）などの樹木を植林
植樹記念の記念碑の前で
（写真左）



中国の誇る大プロジェクト
三峡ダム の周囲に植林を進めて来た。（今回第 5 期）
地元の住民からも大いなる期待と歓迎を以って迎えられている。
川手団長と友好の握手
（写真左）

《第 16 次訪中 福建省アモイ市》



アモイ海洋大学の学生たちも植林活動にボランティアとして参加。
日中の青年交流の場となった。
元気溢れる学生たちと友愛訪中団一行が揃って記念撮影



鳩山友愛塾塾生も植林活動に参加。
現地の学生と一緒に汗を流した。

(3) 日中友愛交流会

かねてより、日中植林活動等において深い友好を深めていた中国大使館湯本淵公使参事官の申し入れを受けて、日本側青年と中国青年との間で『友愛』をテーマとして交流会が鳩山会館にて実現した。

日本側青年として鳩山友愛塾修了生、中国側青年として在日中国若手大使館員が参加した。

川手常務理事の『友愛と人間』をテーマとした講義に中国青年達は熱心に聞き入り、その後の懇親会においても日中青年による忌憚のない意見交換会が実現し盛況を博した。

(趣意)

友愛を絆として、日中国民の友好と親善を進め、相互の平和と発展に貢献する。

会場：鳩山会館

日程：2009年11月6日(金)



参加者全員で記念撮影。次代を担う若者が日中交歓のひと時を過ごした。



挨拶に立つ湯本淵在日中国大使館公使参事官

植林活動を通じて、財団法人日本友愛青年協会とは長い期間の交誼をいただいている。
今回、在日中国大使館に勤務が決まり、早速この友愛の会が実現した。



『友愛理解のために』を基に、講師を務めた川手正一郎常務理事



講義のあとは、鳩山友愛塾修了生を交えて、日中友愛の会の実現となった。

【4】文化振興、研修事業／寄付行為第4条8項に基づく事業

(1) 友愛ドイツ歌曲（リート）コンクール開催

1 概要・経緯

1986年、友愛社会開発セミナーにおいて、ドイツ歌曲を集めた「友愛コンサート」を開催した。この音楽活動が母体となり、1990年より本協会の文化振興事業として「友愛ドイツ歌曲コンクール」を実施することとなった。

また、姉妹団体・オーストリア勤労青年連盟(ÖJAB)と協力し、ドイツ歌曲(リート)の普及、音楽技能の向上を図り、音楽を通じて青少年の資質の向上と国際化時代の音楽文化の発展に寄与する目的で、本コンクールを実施した。イタリア歌曲、フランス歌曲などのコンクールは開催されているが、ドイツ歌曲に関しては、当協会のコンクールが唯一であり、音楽界からも高く評価されるに至っている。

2 事業の内容・詳細

- ①協 力 オーストリア勤労青年連盟(ÖJAB)
ローゼンホテルオーストリア
- ②後 援 外務省、文部科学省、オーストリア大使館、ドイツ連邦共和国大使館、日墺文化協会、社団法人日本演奏連盟
- ③協 賛 株式会社音楽之友社、株式会社河合楽器製作所、ヤマハ株式会社、日本 R. シュトラウス協会
- ④期 日・会場 第一次予選 10月27日(火) 文京シビックホール 小ホール
第二次予選 10月30日(金) 文京シビックホール 小ホール
本選会 12月 4日(金) 旧東京音楽学校奏楽堂
- ⑤応募資格 2009年4月1日現在、年齢満18歳～満35歳
国籍、学歴、音楽歴は問わない
- ⑥参加料 一般の部 19,000円 学生の部 15,000円
- ⑦参加者
募集案内は平成21年6月頃より始め、平成21年10月1日(水)～10月15日(水)まで受付を行った。
- ⑨審査員
コンラート・リヒター 元シュツットガルト音楽大学学長
朝 倉 蒼 生 東京芸術大学名誉教授
高橋啓三 東京音楽大学教授
菅 英 三 子 京都市立芸術大学准教授(2次予選のみ)
ヨズア・バルチェ 武蔵野音楽大学講師・ドイツ語発音法
三石潤司 武蔵野音楽大学教授(2次予選のみ)
本島阿佐子 国立音楽大学専任講師
島崎照代 日本友愛青年協会評議員・実行委員長

3 21年度結果報告

第一位	村本 彩夏／東京芸術大学大学院在学中
文部科学大臣奨励賞	
第二位	
日本歌曲賞	
日本 R. シュトラウス協会賞	加来 徹／東京芸術大学大学卒業
第三位	國井 陽子／尚美学園卒業
奨励賞 (学生の部)	宮西 一弘／国立音楽大学在学中
優秀共演者賞	大田 佳弘／東京芸術大学大学卒業
聴衆者賞	原田 勇雅／東京芸術大学大学院修了

～入選者～

岩田 真奈／国立音楽大学大学院修了
込山 由貴子／武蔵野音楽大学卒業
草刈 信明／桐朋学園大学大学院修了
高山 佳代／国立音楽大学卒業
小林 良子／エリザベト音楽大学大学院修了

入賞者には下記の副賞を贈呈した。

第一位	賞金 20 万円	奨励賞	賞金 5 万円	聴衆者賞	賞金 3 万円
第二位	賞金 20 万円	日本歌曲賞	賞金 5 万円		
第三位	賞金 10 万円	日本 R.シュトラウス協会賞	賞金 5 万円		

最優秀者には、文部科学大臣奨励賞、副賞として平成 21 年 3 月 2 日にウィーンにて実施される

Ö JAB 主催の音楽会出演できます。ウィーンまでの往復航空券及び 8 日間のウィーン研修旅行に招待。

～講評概要～

第 20 回の節目の年に当たる本年度は、例年にも増して応募者数の技量が高くなり、第 1 次予選、第 2 次予選とも審査には大変頭を悩ませた。特に、最優秀者賞の決定にあたっては、審査時間を大幅に過ぎる程の審査員間での議論がなされた。今後の課題としては、各自どのようなコンディションにおいてもベストを出せるよう精神力の鍛錬に期待したい。

＊本コンクールは高いレベルの方が受けるとの評判となり、ドイツ歌曲を勉強している者にとっては、大きな目標となっている。

＊本コンクールの参加者は、初めて「友愛」と「鳩山」という関連を知り、文

化活動についての鳩山由紀夫理事長、鳩山邦夫本大会会長の理解の深さに感銘を受けている。

＊本コンクールの質の高さは、協力参加してくださる審査員の格の高さに負うところが多い。

＊受賞された方は、国の内外で活躍され、社会的にも「友愛ドイツ歌曲コンクール入賞」は、高い評価を受けており、文化振興としての役割も果たしている。



第一位 村元彩夏さん
文部科学大臣奨励賞



第二位 加来 徹さん
日本歌曲賞・日本Rシュトラウス賞



第三位 國井陽子さん



聴衆者賞 原田勇雅さん
優秀共演者賞 大田佳弘さん



【5】刊行物事業／寄付行為第4条7項に基づく事業

(1) 機関紙『友愛』の発行

＊20年度発行 …… 第499号～第504号 隔月 6回発行

＊創刊号(昭和28年2月25日発行)から現行(第504号)全てデータ化完了。

(2) リーフレット『友愛』の作成・配布

＊友愛について、広く一般に理解しやすいことを目的としてリーフレット『友愛』が作成された。

＊鳩山会館及び財団事務局を中心とした配布を行い友愛啓発活動の一翼を担っている。

友愛とは

フランス革命の自由、平等、友愛(博愛)の『友愛 Fraternity』がその起源です。そして、自由と平等の社会実現の為にはその絆として友愛が不可欠であるとの理念がそのベースです。鳩山一郎は、相互尊重、相互理解、相互扶助(友愛3原則)という言葉で友愛を具体的に表現し、友愛運動の行動指針としました。

友愛の提唱者と友愛運動

友愛を提唱したクーデンホフ・カレルギーは、明治27年東京に生まれました。父はオーストリアの貴族で日本公使、母は青山光子という日本人女性です。常次郎という幼名もあります。2歳の時、オーストリアに帰国し、ウィーン大学を卒業、29歳の時『汎ヨーロッパ』を著し、その考え方がフランスのシューマン首相に認められ、EU発想の原点となりました。また1905年には『全体主義国家対人観』を上梓、その著書の中で友愛革命を提唱、それが鳩山一郎の目に留まり、終戦前自ら翻訳し、昭和28年『自由

と人生』と題して出版、これが契機となり、友愛運動が始まったのです。

鳩山一郎は、終戦時の混乱した日本の社会を救うため、政治家の理念を『友愛』とし、保守大合同、日ソ共同宣言、国連加盟という政治目標を達成したのです。戦後10年で日本が国家として新しい方向に再出発できたのは、まさに鳩山一郎の友愛思想からです。

友愛社会の実現

カレルギーは、友愛の人間像について、それは自己完成であり、紳士と淑女の社会であるとしました。しかしそんな素晴らしい桃源郷のような社会が実現するのでしょうか。

カレルギーは普通の才能と才識を具備した人間ならその理想に到達できると断言しています。要は、人間自身がそのような人間に近づく努力をすることであり、それが人類進歩の道とし、思想が実現できるかどうかについては、それはその思想を信ずる人の数による、その思想を信ずる人の数が多ければ多い程、その思想は現実のものとなる。と説いているのです。

今、世界は経済的格差や差別、自然破壊、各地での

友愛運動の歴史

各種講演会、座談会、機関紙を通しての友愛普及活動
移動文化映画展覧会巡回(創立時代)
無医村歯科診療所設置巡回(創立時代)
福祉施設支援活動
友愛山荘を源としての社会教育運動
一以降は(財)日本友愛青年協会として
海外青年交換等、国際理解推進のための諸運動
ドイツ歌謡コンサートをはじめ諸外国との文化交流活動
中国植林活動
鳩山友愛塾支援



クーデンホフ・カレルギー

汎ヨーロッパ運動の指導者
友愛思想・友愛革命・友愛社会を提唱

明治27年(1894)11月16日
大正12年(1923)10月
昭和10年(1935)
昭和25年(1950)
昭和26年(1951)
昭和47年(1972)7月29日

東京にて出生 幼名 青山栄次郎
『汎ヨーロッパ』出版
『Totalitarian State Against Man』
(全体主義国家対人観)出版
シャルル・ド・ガッス賞受賞(Charlemagne Award)
ノーベル平和賞候補となる
逝去 87歳



鳩山一郎

弁護士 衆議院議員15回
第52代～54代 内閣総理大臣

明治16年(1883)1月1日
昭和28年(1953)1月
昭和28年(1953)4月29日
昭和29年(1954)12月10日
昭和30年(1955)11月15日
昭和34年(1959)3月7日

東京にて出生
『自由と人生』出版
友愛青年同志会結成 会務総任
第35代内閣総理大臣 就任
自由民主党 創設総裁
逝去 76歳

【6】講演会、研修会の開催／寄付行為第4条3項に基づく事業

(1) 「鳩山友愛塾」の後援

＊2009年4月7日「鳩山友愛塾」入塾式 第二期生29名が入塾

＊毎月2回の講義を開催 …… 財団より人員派遣及び事務局業務を補佐

【7】その他事業／寄付行為第4条2項に基づく事業

(1) (社)中央青少年団体連絡協議会への参加協力

＊萩原直三評議員が、(社)中央青少年団体連絡協議会の理事に就任

＊国際関連委員会委員として、積極的に運営に参画

(2) 核禁会議議長代行に谷藤悦史評議員就任

＊萩原直三評議員が核禁会議理事に就任

(3) NPO 法人日本けん玉協会への参加協力

＊NPO 法人日本けん玉協会が主催する「けん玉ペインティングコンテスト」に
「日本友愛青年協会賞」および「団体賞」を提供。

＊2009年度受賞：永春羽那さん（15歳／共立女子大学付属高校1年）



今年度の開会を知らせるチラシ
日本友愛青年協会賞受賞の作品も
堂々たる迫力で。(最後列右から2番
目の作品)

(4) 日本補助犬協会への協力

＊友愛事務局内に募金箱を設置。

＊本年度から軽井沢友愛山荘にも募金箱を設置。

合計9万4千104円

5、庶務関連報告

(1) 運営委員会

下記の通りの運営委員会を開催。本協会の運営についての協議が行われた。

- 第 1 回 運営委員会 4 月 22 日 (火) 14:00 ～ 16:00
出席者 井上和子 川手正一郎 鶴巻克雄 福田八州雄 萩原直三
平成 21 年度新体制に関して
- 第 2 回 運営委員会 5 月 12 日 (火) 13:00 ～ 16:00
出席者 井上和子 川手正一郎 鶴巻克雄 福田八州雄 萩原直三
理事会資料、協議事項検討
- 第 3 回 運営委員会 5 月 18 日 (月) 13:00 ～ 16:00
出席者 川手正一郎 鶴巻克雄 福田八州雄 萩原直三
理事会に向けて、事務局員契約について他
- 第 4 回 運営委員会 6 月 24 日 (水) 14:00 ～ 16:00
出席者 井上和子 川手一郎 鶴巻克雄 福田八州雄 萩原直三
HP 契約費用、事務局員処遇について
- 第 5 回 運営委員会 7 月 21 日 (水) 15:00 ～ 17:00
出席者 井上和子 川手正一郎 鶴巻克雄 福田八州雄 萩原直三
OJAB 招聘事業、山荘看板設置他
- 第 6 回 運営委員会 9 月 8 日 (火) 15:00 ～ 16:30
出席者 井上和子 川手正一郎 鶴巻克雄 福田八州雄 萩原直三
友愛山荘改修、理事長休職・代行者選任他
- 第 7 回 運営委員会 10 月 6 日 (火) 15:00 ～ 16:30
出席者 井上和子 川手正一郎 鶴巻克雄 福田八州雄 萩原直三
山荘パンフレット改訂、日中友愛交流会他
- 第 8 回 運営委員会 11 月 10 日 (火) 15:00 ～ 17:00
出席者 川手正一郎 鶴巻克雄 福田八州雄 萩原直三
山荘運営・リートコンクール・シキ県緑化について他
- 第 9 回 運営委員会 12 月 8 日 (火) 15:00 ～ 16:30
出席者 井上和子 川手正一郎 鶴巻克雄 福田八州雄 萩原直三
HP 山荘写真・OJAB との交流報告他
- 第 10 回 運営委員会 1 月 19 日 (火) 15:00 ～ 16:00
出席者 川手正一郎 鶴巻克雄 福田八州雄 萩原直三
山荘運営、平成 21 年度決算、その他事業他
- 第 11 回 運営委員会 2 月 9 日 (火) 15:00 ～ 16:00

出席者 川手正一郎 鶴巻克雄 福田八州雄 萩原直三

アモイ植林訪中団、OJAB 派遣他

第 12 回 運営委員会 2 月 24 日 (水) 13:30 ～ 15:00

出席者 川手正一郎 鶴巻克雄 福田八州雄 萩原直三

第 13 回 運営委員会 3 月 10 日 (火) 15:00 ～ 16:30

出席者 川手正一郎 鶴巻克雄 福田八州雄 萩原直三

H22 年度予算案・事業計画他

(1) 友愛定款等作成委員会中間報告書

はじめに

当財団は、公益法人制度改革に対応するために新法検討委員会（委員長鶴巻克雄常務理事、第 75 回理事会決議）を設置し、その諮問を受け財団移行先を一般財団法人とすることに決定した（第 78 回理事会決議）。平成 21 年度中は一般財団法人移行申請手続きに向け、友愛定款等作成委員会を設置し準備を進めてきた。

友愛定款等作成委員会委員一覧（略称：作成委）

作成委委員長常務理事 鶴巻克雄、事務局長常務理事 川手正一郎

諸規則小委員会委員長評議員 萩原直三、評議員 福田八州雄

作成委書記事務局次長 井之輪豪

事務局員 羽中田元美

【作成委員会開催日時】

第 1 回	平成 21 年	6 月 24 日	16 時—18 時
第 2 回	平成 21 年	7 月 17 日	15 時—17 時
第 3 回	平成 21 年	8 月 11 日	14 時—16 時
第 4 回	平成 21 年	9 月 8 日	13 時—15 時
第 5 回	平成 21 年	10 月 6 日	13 時—15 時
第 6 回	平成 21 年	11 月 10 日	13 時—15 時
第 7 回	平成 21 年	12 月 8 日	13 時—15 時
第 8 回	平成 22 年	1 月 19 日	13 時—15 時